加速しよう、未来を。
VERISERVE

2026 年 11 月 12 日

関係者各位

株式会社ベリサーブ

フロンティア AI 時代のサイバー攻撃に、脆弱性対応から復旧体制整備まで一貫支援
「サイバーセキュリティ強化ソリューション」を提供開始

ソフトウェアの品質向上支援サービスを提供する株式会社ベリサーブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鴫原 忠大、以下 ベリサーブ）は、フロンティア AI※1 の進展により、企業が対応すべき脆弱性の増加が見込まれる中、フロンティア AI の脅威に対応する「サイバーセキュリティ強化ソリューション」を、2026 年 11 月 12 日より提供開始します。

本ソリューションでは、リスクの優先順位を踏まえた事前・事後の対応策の策定から、パッチ適用後の品質確認、復旧体制の整備まで、脆弱性対応を一貫して支援します。ソフトウェア品質検証で培った知見と、多くのセキュリティプロジェクトで実績を持つ当社エキスパートの知見を生かし、脆弱性管理のルール整備や運用設計、自動テストを組み合わせることで、パッチ適用によるシステムへの影響を確認しながら、迅速な脆弱性対応を可能にする体制づくりを支援します。

※1　高度な推論能力や自律性を備えた高性能な AI モデル群

フロンティア AI の脅威に対するサイバーセキュリティ強化ソリューション
https://www.veriserve.co.jp/engage/lp/frontier-ai



フロンティア AI 時代のセキュリティ強化に向け、脆弱性への事前の備えから対応・復旧までを一貫して支援

■背景

フロンティア AI の台頭により、従来は発見が困難だった脆弱性が短期間で大量に発見される事態が深刻化しています。また、攻撃者による AI 活用が進むことで、脆弱性の発見から攻撃に至るまでの期間が大幅に短縮される危険性が高まっており、企業にはより迅速な脆弱性対応が求められています。

2026 年 5 月 22 日、金融庁と日本銀行は金融機関や重要インフラ事業者をはじめとする企業などに対し、「フロンティア AI による脅威変化を踏まえた金融機関等の短期的な対応」を要請しました※2。また、同年 6 月 10 日には米国 CISA※3 が、米国の連邦政府機関を対象とする BOD 26-04「Prioritizing Security Updates Based on Risk」※4 を公表し、資産の外部公開状況や既知の悪用状況など、リスクに応じて脆弱性対応の優先順位を判断する考え方を示しました。

このため、企業には日々公開される脆弱性情報が自社システムに与える影響を把握し、リスクに応じて優先順位を付けて対応すると共に、パッチ適用後の品質を確認する仕組みが求められています。また、全てのリスクを事前に排除することは難しいため、攻撃を受けた場合に備えた復旧体制の整備も重要です。

こうした企業の課題に対応するため、ベリサーブは本ソリューションの提供を開始し、脆弱性への事前の備えから、発見・対応、パッチ適用後の品質確認、復旧体制の整備までを一貫して支援します。

※2　金融庁「フロンティア AI による脅威変化を踏まえた金融機関等の短期的な対応」に係る要請について（2026 年 5 月 22 日）https://www.fsa.go.jp/news/r7/sonota/20260522-5/20260522.html
※3　米国のサイバーセキュリティ・インフラ保護を担う政府機関
※4　CISA が定めたリスクベースの脆弱性対応に関する運用指令

■ソリューション概要

本ソリューションは、資産の把握、脆弱性対応の優先順位判断、SBOM を活用した脆弱性管理、パッチ適用後の品質確認、復旧体制の構築を支援します。

1. **ソフトウェア資産の把握と脆弱性対応の優先順位付け**
   対象システムや脆弱性管理の状況を確認し、守るべきソフトウェア資産の重要度や脆弱性の悪用可能性を踏まえ、優先的に対応すべき脆弱性を判断するルールの整備を支援します。
2. **SBOM を活用した脆弱性管理**
   SBOM を生成してソフトウェア構成を把握すると共に、当社が開発したソフトウェアサプライチェーン管理パッケージ「SBOM.JP」を活用し、サービスやシステム単位で SBOM を統合的に管理することで、脆弱性情報の可視化や影響調査を支援します。
3. **パッチ適用後の品質確認を効率化する自動テスト**
   パッチ適用後のシステムへの影響を迅速に確認するため、リグレッションテスト※5 の自動化を支援します。
4. **サイバー攻撃に備えた復旧体制の整備**
   エージェンティック・サイバーレジリエンス・プラットフォーム「Rubrik※6」を活用し、バックアップの保護や復旧ルールの策定、復旧訓練を通じて、迅速な復旧を可能にする体制の構築を支援します。

※5　変更が影響していないかを確認するために行うテスト
※6　バックアップや復旧を通じてサイバー攻撃への耐性強化を支援するデータ保護プラットフォーム

■SCSK グループのセキュリティサービスとの連携

本ソリューションは、SCSK が展開する「顧客伴走型統合セキュリティサービス」を構成するサービスの一つでもあり、SCSK グループにおけるフロンティア AI 時代のサイバーセキュリティ強化を支援する取り組みの一翼を担います。ベリサーブは、ソフトウェア品質検証やセキュリティ支援で培った知見を生かし、脆弱性管理やパッチ適用後の品質確認、復旧体制の整備などを支援します。SCSK グループ各社が提供するセキュリティサービスと組み合わせることで、お客様の課題に応じた幅広い支援につなげます。

■関連セミナー

国内最大の金融機関向け IT フェア「FIT2026（金融国際情報技術展）」の Web 限定セミナーにて、当社社員が本ソリューションに関連する講演を行いました。フロンティア AI による脅威変化を踏まえ、金融機関をはじめとする企業に求められるリスクベースの脆弱性対応や、サイバー攻撃を受けることを前提とした対策について解説しています。ぜひご覧ください。

フロンティア AI 時代の脆弱性管理 ～CISA BOD 26-04 から考える金融庁要請への実務対応～
ベリサーブ サイバーセキュリティ本部 サイバーセキュリティ部長 外山 敬介

視聴はこちら：https://fit.nikkin.co.jp/seminar/1/7557
※視聴には FIT 会員登録が必要です

※配信期間：配信中～2026 年 12 月 4 日（金）まで

■株式会社ベリサーブについて
設立：2001 年 7 月 24 日
代表取締役社長：鴫原 忠大
本社：東京都千代田区神田三崎町 3-1-16 神保町北東急ビル
事業内容：ソフトウェア事業
1. ソフトウェアテスト・品質関連事業
2. サイバーセキュリティ関連事業
3. コンサルティング関連事業
4. ソフトウェア開発関連事業
5. その他事業
URL：https://www.veriserve.co.jp/

【サービスに関するお問い合わせ先】
https://www.veriserve.co.jp/contact/

【リリースに関するお問い合わせ先】
広報部 広報課　佐藤、太田
TEL：050-3640-8194
MAIL：press@veriserve.co.jp

※掲載されている製品名、会社名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。